

山形県 戸沢村

# とぎとぎに 議案だまし!

2022 No. 142

2021年12月定例会

豊かな自然に四季のおおりと舟唄のこだまする村をつくらう



2～3p 12月定例会 補正予算2億9620万円を可決 総額45億4300万円

4～11p 一般質問 村政を問い直す! 7議員登壇

12p 総務文教常任委員会報告 戸沢村議会・執行部行政懇談会

13p 産業建設常任委員会報告 議会日誌(10月～12月)

14p 次代を創る若き経営者 表紙の言葉 編集後記

# 補正予算 2億9620万円を可決

令和3年  
12月  
定例会

12月定例会は12月8日から10日までの3日間の会期で行われた。議案は令和3年度一般会計補正予算(第5号)の専決処分1件、令和3年度一般会計補正予算(第6号)1件、特別会計補正予算3件、条例改正2件、指定管理者の指定1件、条例の設定1件を審議し、全議案を可決した。一般質問には7議員が登壇し、道の駅構想、子育て応援集合住宅、財政健全化に向けた取り組み、最上峡を中心とした観光、村道除雪対策、村のサービスマス事業、農作物の価格下落等々広範な内容により議論が交わされた。

## 議案の主な内容

## 歳出の主なもの

### ◎令和3年度一般会計補正予算(第5号)

新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備に係る180万円の補正予算の専決処分を可決しました。

・総務費  
役場庁舎電源設備修繕に係る経費300万円を予算化。

ぼんぼ館第2源泉杭井鉄管修繕に係る経費100万円を予算化。

### ◎令和3年度一般会計補正予算(第6号)

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億9620万円を追加し、歳入歳出の総額を45億4300万円とする補正予算を可決しました。

高麗館受水槽給水ポンプ入替工事費200万円を予算化。

財政調整基金元金積立金1億円及びふるさと応援基金元金積立7000万円を増額。

・民生費  
障害福祉サービス費1500万円を増額。  
児童手当210万円を増額。

・衛生費  
健康管理システム改修のため委託料256万3千円を予算化。

・農林水産業費  
米価下落に対応のため稲作経営緊急支援交付金2100万円を予算化。  
※1反歩3000円。

・商工費  
村コロナ対策認証取得応援補助金200万円を予算化。  
※申請1件につき上限20万円。

・土木費  
西沢線・今神線・十二沢三ツ矢線等変更設計の委託料として700万円を予算化。

・教育費  
JR敷地購入のため公有財産購入費130万円を予算化。

## 条例改正

○戸沢村教育振興修学資金貸付基金条例の一部を改正する条例

これまでの貸付対象と貸付額は、医学部・歯学部に進学した者で月額5万円以内、その他の学部に進学した者で月額3万円以内となっていました。

この度の改正で戸沢村中央診療所勤務の意思のある医学生が新たな対象として加わり、貸付金額は年額200万円以内となります。戸沢村中央診療所に勤務し在職期間が修学資金の貸与期間の1・5倍相当期間に達した場合、返還が全額免除されます。

○戸沢村税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、戸沢村税条例が改正されました。個人村民税関連の改正点が3点あります。

出資に関する業務に充てられることが明らかなのは、寄付金控除の対象外となります。

特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の延長期間が令和9年度までとなります。均等割・所得割非課税限度額における国外居住親族の取り扱いの見直しに伴う規定が整備されました。扶養控除について、その対象となる扶養親族から国外居住親族を原則として除くとされたことに伴い、個人村民税均等割・所得割の非課税限度額についても、その基準判定に用いる扶養親族の範囲が扶養控除と同様の取り扱いとなります。

## 戸沢村いきいき100年の里の指定管理者の指定

令和4年4月1日から令和7年3月31日までの戸沢村いきいき100年の里(ぼんぼ館)の指定管理者を株式会社戸沢村



産業振興公社とすることを可決しました。

**村長・副村長の給与  
1月分を減額**

職員が起因する非違行為について、責任者としての道義的責任を負うため令和4年1月1日から令和4年1月31日までの給与の10分の1を減額することが可決されました。

**発議案件**

戸沢村議会会議規則を改正しました。議員活動と家庭生活との両立支援をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するにあたっての諸要因に配慮するため、育児、介護等を欠席理由に加え、母性保護の観点から産前、産後の欠席期間も加わりました。  
また請願者の利便性向上のため、請願手続きを見直し、署名又は記名押印に改めました。

**議会中央要望会**

12月23日、県選出国會議員（加藤鮎子衆議院議員、舟山康江参議院議員、芳賀道也参議院議員）へ議会による要望会を行っております。



加藤鮎子衆議院議員を訪問



舟山康江参議院議員を訪問



芳賀道也参議院議員を訪問

**「村道西沢線道路改良事業」の早期完成に向けた予算確保について**

戸沢村南部に位置する西沢地区は、網取・元屋敷の集落27世帯、75名が生活する農村地域で、今神山自然環境保全地域へ通ずる自然豊かな環境が多く、トレッキングや散策に訪れる方が増えております。

当該地区の山側は地滑り指定区域にあり、河川上部の現道は擁壁によって路肩が補強されているものの、下部岩盤がむき出しで東日本大震災以降崩落が目立ち、これまで県事業による護岸対策工事をいただいておりますが、現在も崩落が続いている状況にあります。

当該箇所は、河川と並行し浸食が発生しているため、崩落箇所を回避する現道改築工事ができないことなどから、700mの区間に新たに2つの橋梁を設けたバイパス事業に、平成29年度より着手しております。

当事業は社会資本整備総合交付金対策事業の一般改良として事業を進めてまいりましたが、地すべり地帯等を通することから、新たに防災・減災・国土強靱化のための5か年加速対策の道路事業により、事業を進めたいと考えております。

地域住民の不安解消を図り通行される方々が、安全に通行できるよう村として早期整備を実現するための財政支援をお願いするとともに、防災・減災・国土強靱化のための5か年加速対策を着実に実施するために予算の確保をお願いします。

**ICT教育推進のための環境整備に向けた財源措置について**

急速な情報通信技術の進展やグローバル化など、変化の激しい社会を生き抜くために、国はGIGAスクール構想として一人一台端末と高速通信環境整備を行いました。また、新型コロナウイルスの流行と新しい生活様式の対応を受けGIGAスクール構想が一気に加速してICT環境の整備が整いました。戸沢村立戸沢学園では、一人1台利用できる環境が構築され、子供たちがわかりやすい授業、一人一人の能力や特性に応じた学び（個別学習）、子供たち同士が教え学びあう協働的な学び（協働学習）に活用されております。また、コロナ禍で自宅での学習にも有効活用されております。

しかしながら、GIGAスクール構想を進めるには、タブレット以外のネットワーク環境、電子黒板等々の整備が必要となります。当該事業に係る経費は大きく、財源確保が厳しい状況です。

状況をご理解いただき、以下について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 情報機器類のリース契約の使用料・賃借料への財源措置

# 村政を問い、正す!



## 7名の議員が一般質問

一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

<b>I 岡田 孝一議員</b> .....	5p
●道の駅構想について	
●高麗館の今後の在り方について	
●県管理河川について	
<b>II 柿崎 英矢議員</b> .....	6p
▲子育て応援集合住宅について	
▲蔵岡地区水害対策、輪中堤について	
▲地域協力隊募集内容について	
<b>III 加藤 政一議員</b> .....	7p
■財政健全化に向けた取り組みについて	
■陸羽西線アンダーの進捗状況について	
<b>IV 富樫 義人議員</b> .....	8p
◆最上峡を中心とした観光振興について	
◆スクールバス安全対策、環境整備について	
<b>V 伊藤 一議員</b> .....	9p
★村道除雪対策、対応について	
<b>VI 阿部 光樹議員</b> .....	10p
▼村のサービス事業について	
▼空き家等の対策について	
▼村営バスについて	
<b>VII 小野 宏議員</b> .....	11p
☆農作物の価格下落に対して	
☆飼料用米について	
☆平成30年豪雨災害について	

# 一般質問



岡田孝一 議員

## 道の駅構想は

**問** 現在、新庄市を中心に道の駅の場所選定議論が進む状況にあるが、村長はどのような認識をお持ちか。

**村長** 最上地域全体のゲートウェイ（玄関口）、さらに山形県のゲートウェイとなる道の駅整備には、地域の姿を見えるようにして豊富な観光資源をはじめとする「食」「特産品」や「伝統文化」の魅力を地域全体で発信する場の整備と捉え、8市町村の総意の基にスピード感を持って取り組む必要があると思います。



高麗館

## 高麗館の今後の在り方について

**問** 高麗館の今後の在り方について、現在進行中の高

規格道路が首都圏に早々に繋がる状況ですが、さらに県が構想する北のゲートウェイが完成すれば、高麗館の存在意義等を検討する時期と思うが村長の考えは。

**村長** 来年度に地域高規格道路「新庄古口道路」が全線開通する予定です。国道47号線は現在の2割程度の交通量と想定され、道の駅利用者も減少すると思

われますが、韓国風の建築物を強みとし、韓国料理や商品販売など韓国を前面に毎年一定の来客数を確保しており、当面は、韓国テーマパーク的な運営を継続していきたいと考えています。

## 県管理河川 土砂浚渫について

**問** 村内の県管理河川の土

砂浚渫（しゅんせつ）と今後の計画についての内容は。

**建設水道課長** 今年度も県砂防課と調整会議において、要望箇所を協議しており、現在角川や濁沢川を実施中です。場合によっては市ノ沢川へ作業を進めると伺っています。今後とも河川浚渫等要望を続けてまいります。



市ノ沢川



最上川・角川合流地点

# 一般質問



柿崎英矢 議員

## 人口減少対策の子育て 応援住宅について

**問** 地元企業、職人はハウスメーカー進出により、大変な思いで生活をしていまして。村長の決断の一つに決定付けた理由、根拠は。

**村長** 今すぐに手を打たなければ人口減少は進むばかりです。村の出資一時金での負担は財政的にも困難で、民間企業の賃貸方式を取り入れ住宅の整備を図るつもりです。

**問** 地元の企業、職人のことは考えていないのか。

**村長** 今後の公共事業等、できるだけ地元の人にと考えていますが、今回限りですのをご承願したい。

**問** 賃貸料30年で5億円程かかります。宅地造成、設計費含めると5億以上払わなければなりません。この金額は住宅25〜28棟分に相当します。完成して、入居者が予定より入らない時の責任は。

**村長** 集合住宅は村が借上げ全室分を村が負担しますので、多方面に広く募集していく考えです。

**問** 決まった以上、村を引き継ぐ若者や村民の負担にならないようにしていかねければなりません。行政の責任をどの様に考えているのか。

**村長** まだ完成していませんので、できるだけインターネット等活用して幅広く募集します。ご理解願います。

## 蔵岡地区の水害対策 輪中堤について

**問** 今年度に輪中堤が完成



蔵岡地区

しても、前回以上の雨量の時、低い所に雨水は溜まり四たびの住宅浸水被害が心配されます。新たなポンプ等設置の要望は考えていないのか。

**村長** 輪中堤が完成した時は、輪中堤外へ排水する方向性で検討しています。

**問** 村単独で住民との話し合いはしているのか。完成後の委託業務等、県との交渉も必要と考えますが。

**村長** 今後、地区民との話し合いも考えていきます。輪中堤の除草については県の基準に基づいて土木業者へ委託されるものと思われる。



建設中の輪中堤

## 地域協力隊について

ます。

**問** 今まで本人の活動希望を聞いて募集していたのか。また、村で活動内容を示して来ていただいたのか。

**村長** 経済的な活性化を目指す観点から、移住、定住、関係人口、空き家ネットワークづくりの活用6次産業化のプロデュースに絞って募集を行っています。村としては人とのつながりや情報提供を求めて可能な限りの協力をし、活動をサポートしていきます。



建設中の子育て応援住宅

# 一般質問



加藤政一 議員

## 財政健全化に向けた

## 取り組みは

**問** 実質公債費比率が10・6%になっており、年々増加し将来的に財政不安を抱えています。財政健全化にどう取り組んで行くのか。

### 実質公債費比率とは

標準財政規模に占める村債を含めた全債務の返済額の割合で、過去3年間の平均値。実質的な公債費等が、どの程度財政負担になっているかという借金の大きさを表わします。令和2年度実質公債費比率は10.6%で、増加傾向にあります。

**村長** 実質公債費比率の数値が18%を超えると「協議制度」から「許可を要する」との取扱いになります。この様な状況は村としても避けるべきと考えています。財政健全化の取り組みは、新規地方債の発行を4億円程度を目標に財政運営を図り、事業の見直し、事務の合理化等を進めながら、事業の集中と選択を念頭に財政運営に取り組みます。

**問** 事業の見直しをする時に財政状況をどう考慮して

いるのか。

**総務課長** 全体的には、事業の見直しを図って効率化に向け取り組み、ある程度の投資事業を行わないと、経常経費比率が上がるので、交付税を頂きながら一定程度の投資事業も行う必要があります。

**問** 固定資産台帳による資産に関する情報が、公共施設等総合管理計画や個別施設計画の策定・見直しにどう活用が図られているのか。

**総務課長** 資産台帳は整備を図っておりコスト計算はしていませんが、不要施設のあり方については、売却なのか、解体なのか別途検討し、行政としてはスリム化することが、第一前提と考えています。

## 陸羽西線のアンダーの進捗状況は

**問** 県道戸沢大蔵線の陸羽西線のアンダーは、豪雨に

よる河川の増水により冠水し通行止めになります。アンダー解消の進捗状況は。

**村長** 舟形・大蔵・戸沢間道路整備促進期成同盟会の戸沢村重点要望事項として、長年道路改良の現地調査会を実施し現状を確認しています。

また、県土整備事業の道路関連第一要望箇所の順位に掲げ、県は、今年度予算に現地調査費を計上していると同っています。

なお、高屋防災（高規格道路）事業とクロスする所

にあり、このタイミングで国の事業と県の計画が無駄にならないように、村としても3者での調整を図っていただいています。

**問** 現地調査費が予算計上されたことは、今までよりも前進したと理解しているのか。

**建設水道課長** 調査費については、700万円ほど計上されており、来年度は予算設計と同っています。このことから前進していると思っております。



県道（陸羽西線アンダー）

一般質問



富樫義人 議員

最上峡を中心とした  
観光振興について

**問** 以前にも観光についての質問をしました。最上峡の支障木伐採の現状は。

**村長** 平成30年8月の大水害を受けて、河川の浚渫や支障木伐採の国の予算が付き、令和元年に国土交通省新庄河川事務所が支障木伐採を行っています。村と国土交通省とで現地調査を行い、施工可能な箇所のみ伐採した経過があります。さらなる伐採に関しては引き続き要望します。

**問** かつて、幻想の森や最上峡右岸の遊歩道の整備を進めていくとありましたが進捗状況は。

**村長** 幻想の森への遊歩道については以前、草薙の新駅構想があり、遊歩道の整備が可能という判断もありました。現在は新駅構想が聞かれなくなり、独自にJRを渡るコースの整備は困難と思われる。また最上峡右岸の遊歩道は、最上峡芭蕉ライン観光株式会社で整備し、ある程度の利用客はいます。渇水時に上陸できない、増水により地形が変わった等々、維持管理が困難であると聞いています。

**問** 村内高規格道路が全線開通する前に、古口から草薙までを観光道路とし、景観の良い場所や駐車できる場所などのマップを制作すべきと考えますがいかがか。

**村長** 最上峡は観光の目玉であり、非常に大事な財産と考えています。全開通までは時間があり、担当課と協議しながら検討していきます。

スクールバス安全対策、  
環境整備について

**問** スクールバスのアンケートを実施したと聞いているが、どのような要望があったのか。

**教育長** 2地区の育成会からご意見をいただき、濁沢・向名高地区育成委員会から中央公民館前の横断歩道を渡る際の安全確保の要望を、古口・川西地区育成委員会からは風館地区児童のためには番所前にバス停を増設してほしいという要望がありました。今後も、各地区育成委員会と検討してまいります。



国道47号線から見た最上峡



▶ 児童・生徒の通学に欠かさないスクールバス



▶ バス停まで通行量が多く、児童の安全確保が求められる

# 村道除雪対策、対応について

**問** 苦情、要望など今まで毎年何件くらいあるのか。また、どのように対処しているのか。

**村長** 積雪量に比例し問い合わせも増えています。お

およその件数となりますが、毎年10件程度の苦情や情報提供をいただきます。内容は「積雪により車の通行が困難」、「雪崩により通行できない」、「路面状況が悪く危険」等々、出動可能な時間内であれば指示し対応しています。夕方や夜間は、次の日の作業に支障が出るため即時対応はできない

いので、翌朝からの出動に合わせ対応しています。なお、本郷蔵岡線で雪崩が発生した時は、通行止めの看板設置と防災無線により交通情報をお知らせしています。

**問** 早朝から一日中降り続いた大雪の場合、対応は十分にできていたのか。

**村長** 現行の体制では対応できません。複数回出動できますが、大型機械であることから安全対策が必要となり、村道は幅員が狭く担当路線外となれば下見等、



路面状況を含め準備が伴い除雪路線を変更することは行っていません。

降雪時の勤務時間は、午前0時30分から車両点検を始め、午前1時に出動し、午前11時45分までとなっています。1日中降り続く大雪の場合には2班体制（夜中・日中）の必要があり、人員確保、予算面が課題となります。

**問** 村内業者への除雪委託は今後考えていくのか。

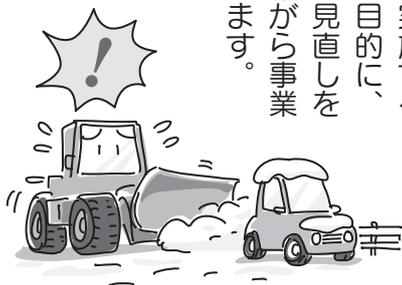
**村長** 南部地域の一部は委託してから3年目となります。体制整備等を検討し検討が必要と考えています。南部地域の委託業者は見積入札で決定しております。村内8業者へ通知し、4社が辞退していることから、簡単には村内全てを委託で

きる状況にはないと思えます。除雪作業を安全かつ効率的に実施することを目的に、今後も見直しを行いながら事業を進めます。

## 一般質問



伊藤 一 議員



作ってみよう!マイナンバーカード



11月現在、8市1町のコンビニ各社店舗で住民票などの公的証明書等が取得可能です。国内で他に日本郵政の57店舗でも可能です。

村のサービス事業について

身近には感じられませんが、村では役場以外で取得可能にする考えはあるのか。

村長 戸沢村ではマイナン

一般質問



阿部光樹 議員

バーカードを所持しているパーセントの住民の方しか対象になりません。システム改修費や分担金、ランニングコストの費用について詳細に詰めていないが相当程度の費用がかかるかと推察され、現時点での役場以外での諸証明発行は難しいと考えます。

空き家等の対策について

現在の空き家バンクの状況は。

村長 年1回の情報提供による「紙データ」を更新し

別表(第3条関係) 住宅の不良度の測定基準

評定区分	評定項目	評定内容	評点	最高評点
1 構造一般の程度	①基礎	ア 構造耐力上主要な部分である基礎が玉石であるもの	10	45
		イ 構造耐力上主要な部分である基礎がないもの	20	
	②外壁	外壁の構造が粗悪なもの	25	
2 構造の腐朽又は破損の程度	③基礎、土台、柱又ははり	ア 柱が傾斜しているもの、土台又は柱が腐朽し、又は破損しているもの等小修理を要するもの	25	100
		イ 基礎に不同沈下のあるもの、柱の傾斜が著しいもの、はり腐朽し、又は破損しているもの、土台又は柱の腐朽又は破損があるもの等大修理を要するもの	50	
		ウ 基礎、土台、柱又ははりの腐朽、破損又は変形が著しく崩壊の危険のあるもの	100	
	④外壁	ア 外壁又は各戸の界壁の仕上材料の剥落、腐朽又は破損により、下地の露出しているもの	15	
		イ 外壁又は各戸の界壁の仕上材料の剥落、腐朽又は破損により、著しく下地の露出しているもの又は全体を貫通する穴を生じているもの	25	
	⑤屋根	ア 屋根ぶき材料の一部に剥落又はずれがあり、雨漏りのあるもの	15	
		イ 屋根ぶき材料に著しい剥落があるもの、軒の裏板、たる木等が腐朽したもの又は軒のたれ下がったもの	25	
ウ 屋根が著しく変形したもの		50		
3 防火上又は避難上の構造の程度	⑥外壁	ア 延焼のおそれのある外壁があるもの	10	30
		イ 延焼のおそれのある外壁の壁面数が三以上あるもの	20	
	⑦屋根	屋根が可燃性材料でふかされているもの	10	
4 排水設備	⑧雨水	雨樋がないもの	10	10

備考)一定の評定項目につき該評定内容が2又は3ある場合においては、当該評定項目についての評点は、該当評定内容に応ずる各評点のうち最も高い評点とする。

村長 破損の程度が軽く簡  
バス停留所の表示板で、破損や老朽化で危険な物について修繕はしないのか、もしくは撤去しないのか、今後の取り扱いの考えは。



村営バスについて

村長 問い合わせ10件、申請9棟があり、1棟が特定空き家に該当し補助金を交

問 空き家解体支援事業の問い合わせや実績は。

ていましたが、今年度「空き家台帳管理システム」の契約と調査を進め、「空き家バンク」を立ち上げます。

建設水道課長 前所管課ののまちづくり課とも協議の上、悪い点に関して見直しを検討します。

問 厳しすぎるこの声が聞こえる判定表ですが、見直しの考えは。

付しました。

単に処置できるものは職員が修繕していますが、それ以外の危険なものは、その都度撤去し、役場敷地内に回収しています。今後同様の対応を考えたいです。

# 農作物の価格下落に対して

**問** 令和3年産の米価の下落と畑作物の減収に対して村として、どのように捉えているのか。

**答** 次期作に向けての支援策と考えます。農家の方々にとっては、この支援策が大きな一助になると思うので、できるだけ早くお願い

**村長** 村独自の支援策として「稲作経営緊急支援交付金」制度を新設し対応する予定です。また、畑作物の価格低下情報もありますが、品目によるバラツキもあり行政として支援する状況には至っていないものと判断しています。今後、国や県による支援事業ができれば、村として高上げも含め積極的に取り組みます。



稲刈り

## 一般質問



小野 宏 議員

します。この「稲作経営緊急支援交付金」は、主食用米作付面積に支給されるのか、また、品種によって分けるのか。

**産業振興課長** 主食用米作付面積に対して考えています。

### 飼料用米について

**問** 春の座談会や協議会等で飼料用米について説明を受けました。産地交付金の内容が、なぜ1年で変わったのか。

**産業振興課長** 全国から継続を要望する声が上がっている状況です。村としても国の動向を注視して対応を検討していきます。今後、村耕畜連携協議会等での議論を深めていきます。

**問** 飼料用米作付により遊休農地の活用、農家の所得向上を目指すうえで、今後どのような取り組みを考えたのか。

ていくのか。

**村長** 主食用米の価格低下の状況を踏まえれば、飼料用米の方が農家の所得向上に繋がることは間違いありません。農政局の方針として飼料用米に力を入れ今後、大きく方針転換されることはない想定しています。また農地保全を図っていくうえで、遊休農地の活用は、必須事項となります。転作物物の主力として引き続き、飼料用米の作付面積拡大を図っていく必要があります。

### 平成30年豪雨災害について

**問** 田沢川中流部の被災箇所における対応を以前にも質問しましたが、これまでの経過と進捗状況は。

**村長** 平成30年の豪雨により発生した河川隣接の農地被災箇所状況を、総合支庁河川砂防課へ伝え、令和2年10月に3被災箇所の工事優先順位を求められたこと



田沢川

で、最上部の河川域を復旧することを確認後、実施しました。下流側の残り2箇所は、本年9月に村より県へ要望箇所として「護岸補修」の提出を行っています。

## 常任委員会報告

### 総務文教常任委員会

12月9日、スクールバス停留所の視察を行いました。これから冬を迎えますが屋根付きのバス停と何の設備もされていないバス停がありました。大雪や大雨、強風の日などは、子ども達にとっては苦難を強いられて

いたのではないかと思えます。

今後、子どもの数やバス停の設置場所についても各地区会や保護者などが意見交換の場を持つて教育委員会に要望していく必要があるかと思えます。

地区会と協力し屋根付きのバス停の設置を希望する地区は「地域づくり交付金（上限20万円）」を利用して地区民で考えていくことも必要です。

中学生は学校から3km圏内は徒歩又は自転車ですが冬場になると徒歩となります。かなりの保護者の方の送り迎えが増えると聞いています。冬場はバスを利用する人、バス不要の人を事前に希望をとって対処していくことも必要と考えます。子ども達の安心と安全を一番に考えていきたいと思えます。

委員長 富樫 義人



## 戸沢村議会・執行部行政懇談会



令和3年12月17日、全議員、村長、副村長、教育長、全課長が出席のうえ、行政懇談会を開催しました。各課より重要施策について説明があり、議会との情報交換、質疑応答が交わされました。

以下質疑応答の抜粋です。

**Q** この度の10万円給付について、住民、マスコミ等に誤解がないよう周知すべきだったのでは。  
**A** 5万円給付は進めてい

た。その後、10万円一括給付とした。通知のうえ、今年中に支給したい。

**Q** 太陽光発電蓄電設備の助成の取り扱いはどのようなになっているのか。  
**A** 設置の負担経費10分の1（上限20万円）等のメニューがある。村住宅リフォーム関係の併用は不可。県のメニューとの併用は可。計画の段階で相談してほしい。

**Q** 生活密着道路が工事車両の通行により痛んでいる業者への指導は行っているのか。  
**A** 村道について確約（書面）はとっていない。現状、村で対応している。

**Q** 住宅建設が進んでいる。低所得者向け村営住宅は所得により家賃が増減する。現在の村営住宅には子供支援がない。助成すべきでは。  
**A** 住宅の家賃については、村営住宅と子育て応援住宅の性質が違います。村営住宅利用者の方には所得に応

じ、分譲地の利用を選択肢の一つとして示したい。

**Q** 地すべり対策は令和3年度で完成。令和3年度の繰越があると聞いている。今後、メニューとして残るのか。受益者負担がないようにしていただきたい。  
**A** 村全体の状況を確認します。（勝地等、中部、南部）概成したとしても地すべり防止法から外れることはありません。

**Q** 2路線のデマンドタクシーの実証運行は続けるのか。  
**A** 地域公共交通会議で結論が出ます。現状、北部地区にはある程度の利用者がいる。山之内地区は利用者が少ない。

**Q** 村道除雪の人材確保、育成についてどのように考えているか。  
**A** 除雪オペレーターについては70歳で退職いただいています。若い人（55歳以下）2名と雇用契約を結びました。

**Q** 三役の人員費を考えてほしい。10万円支給がされた場合は、プレミアム商品券の発行を控えてはどうか。

産業建設常任委員会

村内河川・濁沢川・市ノ沢川・最上川角川合流点、更には沢内川右岸「東沢大堰取水口」の状況を現地視



市ノ沢川



濁沢川



東沢大堰取水口

察し、大堰取水口は、これまでの経過を踏まえ村・議会に対し要望を頂き、組合・村と議会一体となりながら県に要望する事を確認。  
 村内河川の土砂堆積を早急に浚渫する必要性を強力に要請することを確認し併せて、郡区選出伊藤・小松両県議に対し委員会として、要請をすることを確認した。  
 12月中央要望については、過去の議会要望で現在進行中の西沢線道路改良工事予算確保を産業建設常任委員会として決定した。

委員長 岡田 孝一

議会日誌(10月～12月)

10月5日 第9回老人クラブ連合会グラウンド

ゴルフ大会

最上広域市町村圏事務組合議運

議員全員協議会

第5回臨時会

12月 最上広域市町村圏事務組合10月定例会

14日 子育て応援住宅地鎮祭

15日 戸沢村戦没者追悼式

19日 最上地区広域連合議運・全協

20日 町村議会議員研修会

22日 最上広域市町村圏事務組合例月監査

25日 例月出納検査

27日 最上地区広域連合10月定例会

29日 山形県建設業協会要望会

11月1日 山形県・市町村行政懇談会

5日 舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟

会現地調査会

6日 鳥獣被害対策研修会

15～16日 全国過疎地域連盟第52回定期総会

18日 山形県町村議会議長会感謝状贈呈懇談会

22日 最上広域市町村圏事務組合例月監査

24日 議会運営委員会

25日 県関係国会議員と町村議会議長との交流懇談会

26日 令和3年度町村議会議長行財政セミナー

29日 例月出納検査

30日 議員全員協議会

12月1日 戸沢産玄そば最上早生供給調印式

2日 最上県政懇話会例会

3日 令和3年度スポーツ振興基金運営委員会

6日 戸沢村観光物産協会研修会

8～10日 12月定例会

16日 最上地区広域連合全協・懇談会・議運

17日 最上地方町村議会議長会臨時総会

17日 議会・執行部行政懇談会

21日 最上地区広域連合議運・全協

22日 最上市町村議会議長会臨時総会

22日 最上広域市町村圏事務組合例月監査

22日 最上広域市町村圏事務組合臨時会・全協

23～24日 市町村長と議会議長との意見交換会

27日 村議会中央要望会

例月出納検査

最上地区広域連合12月定例会

最上地区広域連合懇親会

# 次代を創る若き経営者

株式会社アイシン精機 代表取締役 高橋 潤



## ◎高橋代表取締役のコメント

地域の中核企業として社員一丸となって業務に精励してまいります。ご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

## ◎会社の沿革

昭和58年12月、荒川喜作氏が代表取締役社長として会社を設立。現在は高橋潤氏が事業を展開しています。

カメラレンズ枠など高精度、高品質な光学部品を製造しています。



## 議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

**3月9日(水)から15日(火)**

本会議は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局72-2113にお問い合わせください。

◎お越しの際は検温・マスク着用等の感染症予防対策をお願いします。



とざわジュニアスポレク祭(1月23日)

## 編集後記

毎年恒例となった戸沢学園4年生の二分の一人式が授業参観の中で行われ、合奏や将来の夢など発表した後、学校生活のスライドショーを楽しみました。10年後の成人式までのさらなる成長が楽しみです。

## 表紙の言葉

春の訪れが待ち遠しい極寒となりました。

雪と共存している私たちは、毎日大変・降らなくてもいい・積もらないと仕事がない・運動にもなるなど、色んな意見を持っています。県内でも雪に関する事故が目立っているため、無理せず、十分に気を付けて作業を行いましょ。

議会広報常任委員会

副委員長 阿部 光樹

